

表彰制度の概要(骨子案)

調整中

資料4

○アクションプランでの記述(該当部分)

2. PPP/PFIの推進施策

(2) 地方公共団体等の機運醸成、ノウハウの蓄積、案件形成に向けた積極的な支援

ii) 首長、地方議会等の機運醸成に向けた情報提供等

④ PPP/PFI事業の中から先導的な優良事例等を選定し、国が表彰する制度を創設する。(令和4年度開始) <内閣府>

概要

	内容
目的	PPP/PFI事業の中から先導的な優良事例等を表彰し、地方公共団体や民間事業者等の機運醸成を図り、未実施地方公共団体や小規模地方公共団体におけるPPP/PFI活用の拡大、必ずしもこれまで広くPPP/PFIが活用されていなかった事業分野における活用対象の拡大、民間の創意工夫の最大化を図ることを目的とする。
表彰の対象	審査委員会(仮称、後述)において決定する当該年度の表彰テーマに該当するPPP/PFI事業や関連の取組を通じて表彰テーマの実現に寄与した主体(地方公共団体・民間事業者等) (なお、募集対象は、例えば、表彰対象を幅広くする募集する場合は、「供用済～〇年以内に供用する予定の事業」などとし、比較的新しい事業の表彰を意図する場合は「過去〇年以内に供用を開始した事業、今後〇年以内に供用を開始する事業」とするなど、募集対象を絞り込むことも検討)
表彰者	検討中
表彰の頻度	年1回を想定するが、制度運用開始後、実施状況を見て改めて検討。
表彰数	大賞: 1件～数件、特別賞: 表彰対象となるテーマごとに数件(例: 小規模事業賞、民間提案制度活用賞)
選考方法	PFI室長が委嘱する外部有識者で構成する審査委員会(仮称)にて表彰テーマを決め、募集、選考。
評価項目(基本)	<ul style="list-style-type: none">・他に同様の事例がなく(あるいは少なく)、かつ他の模範となること(先導性)・横展開が期待できるモデル性を持つこと(汎用性)・事業としての持続可能性が高いと考えられる計画又は実績があること(継続性)・多様な効果が期待できること(VFM、VFM以外)・審査委員会が表彰にふさわしいと認めるもの

表彰制度の概要(骨子案)

○アクションプランでの記述(該当部分)

2. PPP/PFIの推進施策

(2) 地方公共団体等の機運醸成、ノウハウの蓄積、案件形成に向けた積極的な支援

ii) 首長、地方議会等の機運醸成に向けた情報提供等

④ PPP/PFI事業の中から先導的な優良事例等を選定し、国が表彰する制度を創設する。(令和4年度開始) <内閣府>

表彰スケジュール(イメージ)

令和4年度	表彰制度の制度設計、制度創設
令和5年4月 年度前半	審査委員会(仮称)の立上げ 表彰テーマ決め 募集、審査、表彰
年度後半	制度見直し、運用改善
令和6年4月	(審査委員会メンバー交代) 表彰テーマ決め …(以下繰り返し)…

検討の論点

- (1) 「先導的な優良事例等」は、アクションプラン推進の方向性との整合性を図ることから、①「地域における活用拡大」に寄与した事業(例: 小規模地方公共団体による事業化等)、②「活用対象の拡大」に寄与した事業(例: 身近な施設における活用やデジタル技術の活用等)、③「民間による創意工夫の最大化」に寄与した事業(例: 民間提案制度活用による事業等)とし、それを踏まえた評価項目とすることとしたい。
- (2) 先導的な優良事例等を継続的に表彰することが望ましい一方、テーマを絞りすぎると表彰の対象となる事例が限定的になるおそれがあるため、初回は一定程度以上の事業件数をカバーするテーマとし、以降の制度運用(テーマの決め方や表彰頻度など)については、実際に運用した状況を踏まえて柔軟に対応していくこととしたい。